

衣類乾燥除湿機

型番 **ANG-CD-B2-W**

家庭用

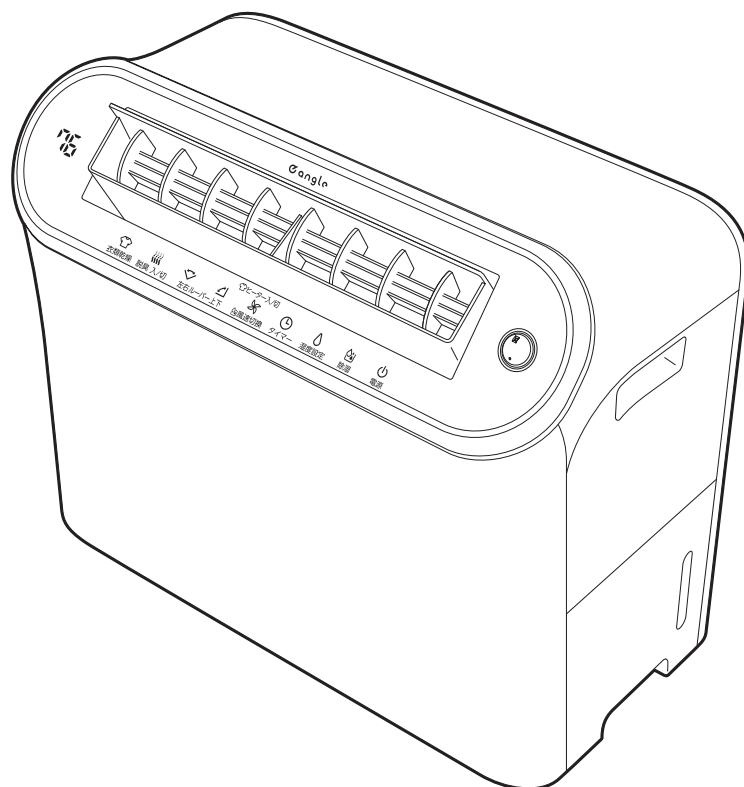
日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書 (保証書別途添付)

このたびは、衣類乾燥除湿機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取
扱説明書をよくお読みください。

なお、保証書は別途添付されています。お読みになっ
た後は、保証書とともにお使いになる方がいつでも見
ることができる所に大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1～3
知っておいていただきたいこと	4
各部のなまえ	5～6
使いかた	7～8
排水のしかた	9～10
お手入れのしかた	11～12
保管のしかた・廃棄について	13

故障かな？と思ったら	14～15
こんな表示が出たら	16
別売部品について	16
仕様	17
修理サービスについて	18
ご相談窓口・修理窓口のご案内	19

安全上のご注意

- * ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に大切に保管してください。

⚠ 警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、お買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」に修理をご依頼ください。



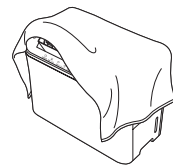
本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、お買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」に修理をご依頼ください。

電源コードが突っ張った状態で使用しない
火災や感電の原因となります。

業務用など家庭用以外の用途には使用しない
本体は家庭用に設計されています。それ以外の用途では、火災・機器が異常を起こす原因となります。

本体に衣類やタオル、ふとんなどをかぶせない
運転中に吹き出し口や吸気口をふさぐと火災・性能低下・故障の原因となることがあります。



本体の吹き出し口や吸気口などから、内部に指や金属物などの異物を入れない

事故や故障の原因となります。お子さまのいるご家庭では、ご注意ください。

傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない

感電、ショート・発火の原因となります。

表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災や感電の原因となります。

電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災や感電の原因となります。

衣類乾燥と除湿以外の用途には使用しない

火災・機器が異常を起こす原因となります。

運転中にコンセントから電源プラグを抜かない

火災や感電の原因となります。

発熱器具の近くに置かない

本体や電源コードの樹脂部が溶け、引火する原因となります。

電源コードをコードフックに巻きつけた状態で使用しない

電源コードが過熱して火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

改造はしない

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
事故・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」にご相談ください。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする
電源コードに傷が付いて、火災や感電の原因となります。

電源プラグは清潔にする
刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布などで拭き取る
火災の原因となります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する
他の器具と併用するとコンセント部が発火する原因となります。
また、延長コードは使用しないでください。異常発熱し、発火や感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

次のような場所では使用・設置しない

- ・ 温室や浴室、屋外など高温・多湿・雨や水のかかる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 油・ほこり・薬品などが付きやすい場所
- ・ 押し入れや家具のすき間などの狭い場所
- ・ 湯煙や湯気が当たる場所
- ・ 傾いたところや高いところなど、不安定な場所
- ・ 油や可燃性ガスなどを使用したり、漏れるおそれのある場所
- ・ 吹き出し口の風がガスコンロなどの燃焼器具に直接当たる場所

使用中、ルーバーに触れない

けがの原因となることがあります。

本体に座ったり、寄りかかったり、上に乗ったりしない

落下や転倒によるけがの原因となります。

美術品や学術資料などの保存・特殊用途に使用しない

保存品の品質劣化の原因となります。

強い衝撃を与えない

故障して、火災や感電の原因となることがあります。

本体に水をかけたり、水をこぼしたりしない

本体内部に水が入り、故障して火災や感電の原因となることがあります。

風を直接身体に当てない

小さなお子さま、お年寄りや動植物にはご注意ください。
健康を害する原因となります。

吸気口フィルターを外した状態で使用しない

本体内にほこりがたまり、故障の原因となります。

電源コードを強く引いて本体を移動させない

電源コードが断線し、発熱することがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずコンセントから電源プラグを抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

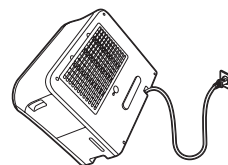
電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずコンセントから電源プラグを抜く

電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。

本体が倒れた場合には、速やかにコンセントから電源プラグを抜く

火災や感電の原因となることがあります。



キャスターに糸くずなどが巻きつかないようにする

故障の原因となります。

本体を移動するときは、水タンクの水を捨てる
本体内部に水が入り、故障して火災や感電の原因となることがあります。(P9「排水のしかた」参照)

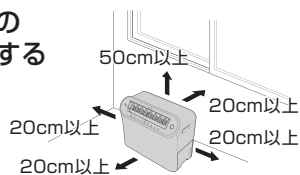
傷が付きやすいところや毛足の長いじゅうたんの上では持ち上げて移動する

床やじゅうたん、畳などを傷付けるおそれがあります。

本体に不具合が生じた場合は、速やかに使用を中止してください。

知っておいていただきたいこと

カーテンや壁などと本機との間にスペースを空けて設置する
火災・過熱の原因になります。



除湿量について

室内の温度や湿度によっては、除湿できなかったり、除湿量が減るときがあります。

● 室温が低いとき

本製品は室温 5℃から 35℃の間で、除湿できるように設計されています。室温が低いときには、吸い込んだ空気と冷却させた空気の温度差が小さく結露しにくいため、除湿量が減少します。

● 室温が高いとき

本体を保護するため、除湿機能が停止することがあります。

● 湿度が低いとき

部屋の湿度が低いときには、空気中の水分量が少ないため除湿量が減少します。

● 設定湿度に達したとき

目標湿度を設定して運転しているときは、設定した湿度に達すると除湿機能が停止します。

室温の上昇について

衣類乾燥や除湿運転をしているときは、吹き出し口から暖かい風が出るため、閉め切った部屋で長時間運転すると室温が上がります。

運転モードの記憶

本体を運転した後で、コンセントに電源プラグを差し込んだまま、 (電源スイッチ) を切り、再び電源を入れると前回運転したときのモードで運転します。ただし、タイマーは記憶できません。

水タンク満水時の自動運転停止

水タンクがいっぱいになると、 ランプが点灯し、自動的に運転を停止します。

自動除霜機能

冬などに気温が低くなると、本体内に霜が発生する場合があります。その場合は  (霜ランプ) が点灯し、自動的に除霜を開始します。除霜の間は通常の運転ではなく、除霜が最優先となります。

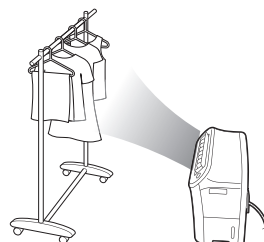
高温時にファンの回転数が切り換わることについて

室内が高温な状態で、風速1で除湿運転をしているときは、本体への負担を減らすために自動的に風速を強く切り換えます。室内温度が低くなると元の風速に戻ります。

上手な使いかた

衣類を乾燥させるとき

センサーが洗たく物を検知し、風向きや風量を自動的に調整します。
下記のように洗たく物を干すと効率よく乾燥させることができます。

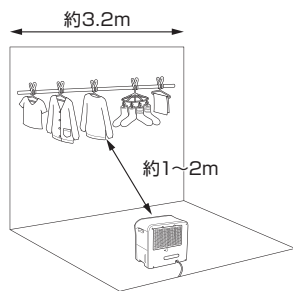


● センサーの検知範囲内に干す

本体から1~2m離れた場所を基点に、右の図のように幅約3.2m以内で洗たく物を干してください。

それより近かったり遠いと、センサーは洗たく物を検知できない場合があります。検知できない場合は強制運転になります。

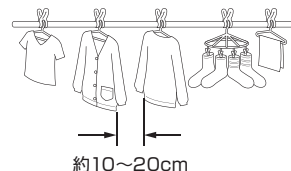
(P8「衣類検知について」参照)



● 洗たく物の間隔を調節する

本体からの風が洗たく物の奥まで通るように、約10cm以上は間隔を空けて干してください。洗たく物が風で動いてしまうような場合は、固定してください。

洗たく物を重ねて干すと、乾燥に時間がかかる場合があります。



● 室温が 20℃以下で低いときは暖房機などで部屋を暖める

● 窓が冷たいときはカーテンを閉める (誤検知を防ぐのに効果的です。)

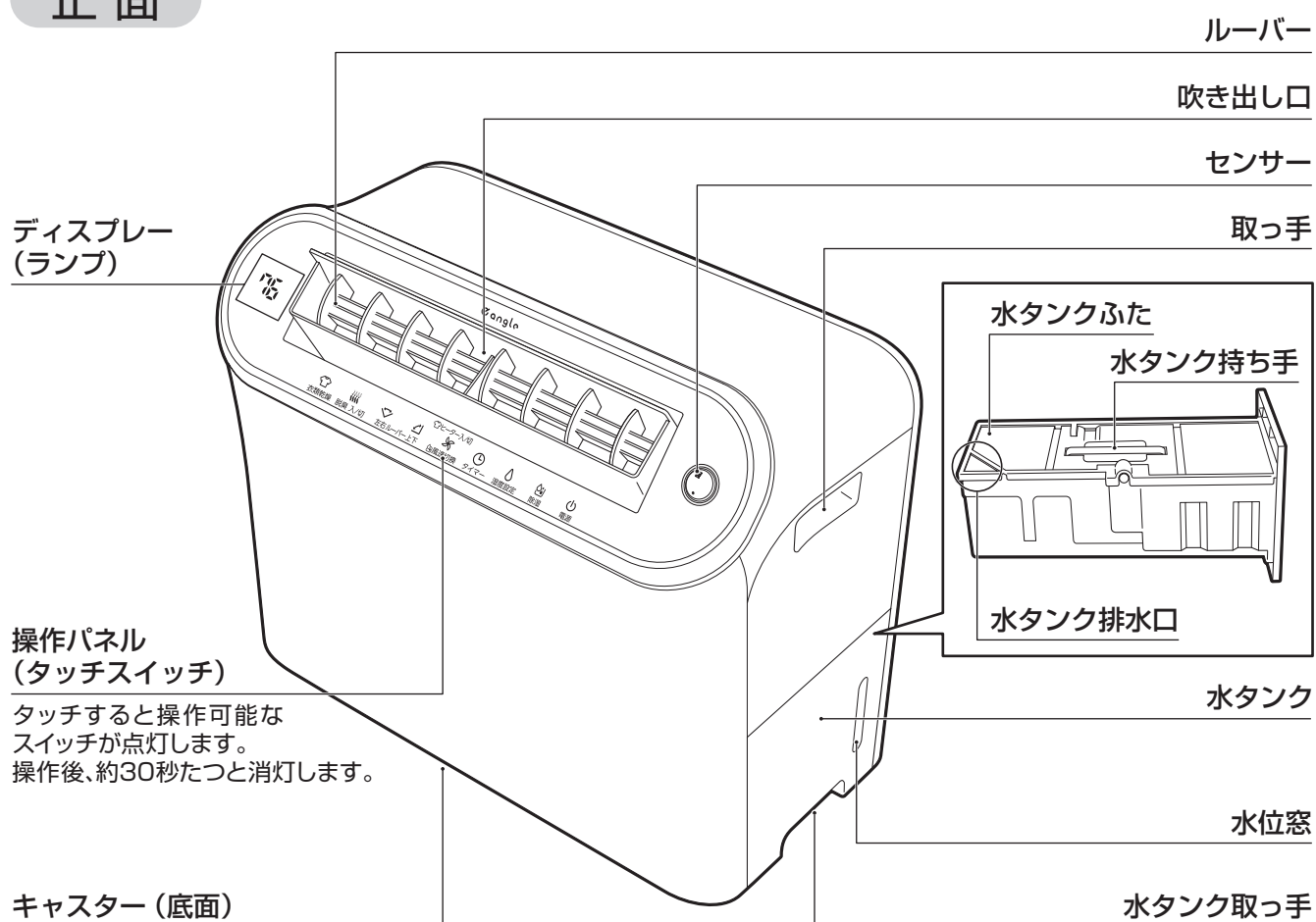
● なるべく小さな部屋を閉め切って使用する

室内を除湿するとき

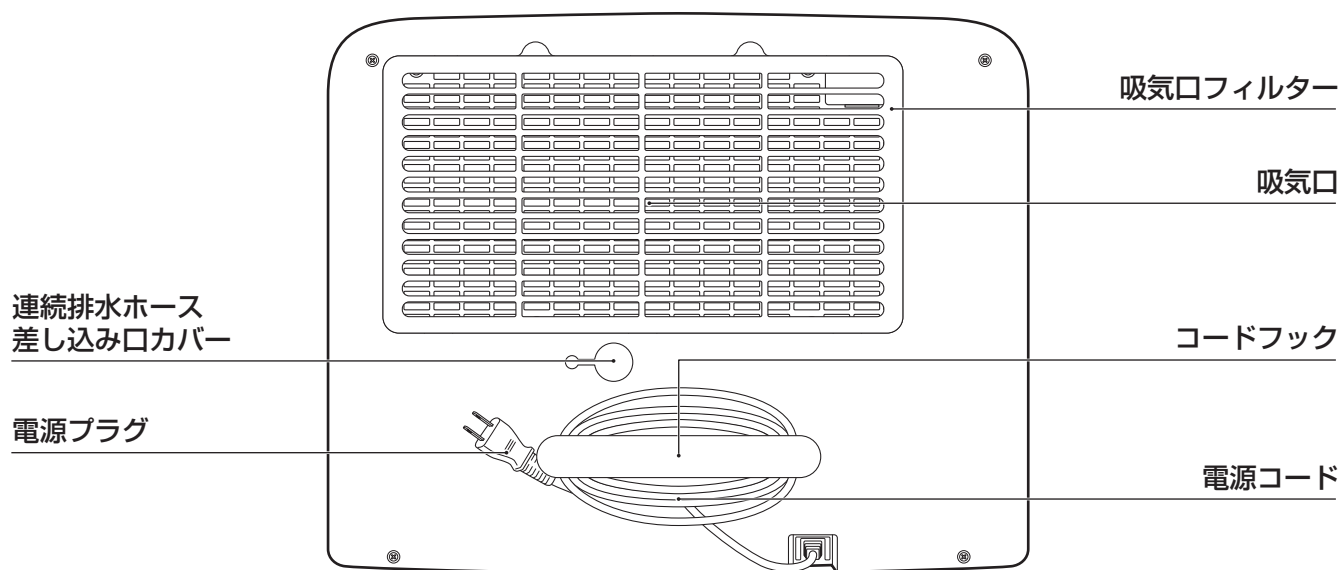
 (ルーバー上下スイッチ) と  (ルーバー左右スイッチ) を使って、部屋全体の空気を循環させることができます。

各部のなまえ

正面



背面



操作パネル

*スイッチにタッチすると音でお知らせします。

ルーバー上下スイッチ

ルーバーを上下に動かすことができます。

ルーバー左右スイッチ

ルーバーを左右に動かすことができます。

脱臭入/切スイッチ

脱臭機能を入/切できます。

衣類乾燥スイッチ

ヒーター入/切スイッチ (衣類乾燥・マニュアルモードのみ)

ヒーターを入/切できます。(H:入 C:切)

風速切換スイッチ (除湿モードのみ)

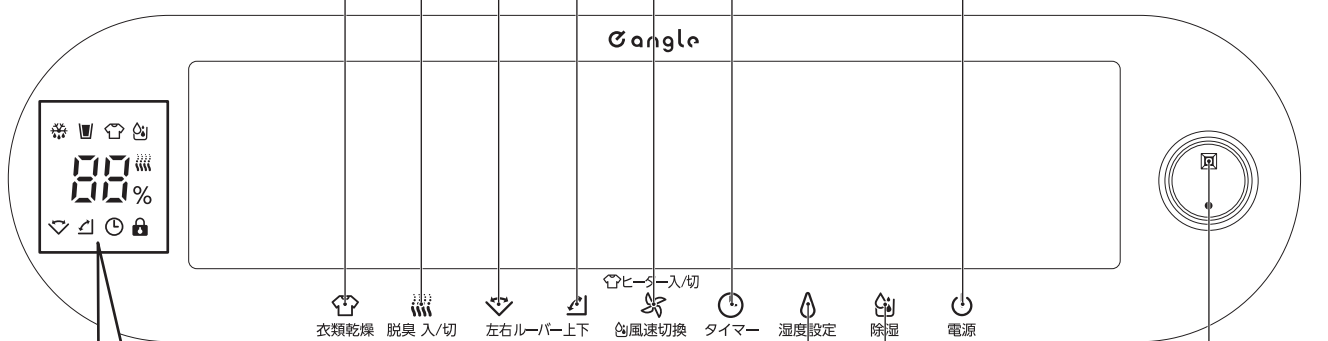
風速を切り換えることができます。(1:遅い 2:速い)

タイマースイッチ

電源を切るタイマーを作動したり、その時間を設定したりすることができます。(除湿モードのみ・P7参照)
また、すべてのスイッチを効かなくするチャイルドロック機能を設定することもできます。(P8参照)

電源スイッチ

タッチすると電源が入り、運転を開始します。運転時にタッチすると、電源が切れます。



ディスプレイ (ランプ)

88%

除湿モード時は室内の相対湿度を表示します。
室内の湿度が30%以下になると、「Lo」と表示します。
80%以上になると「Hi」と表示します。
衣類乾燥モード時は湿度とヒーターの状態を表示します。
ヒーターが入になると「H」、切になると「C」と表示します。



除霜するときに、点灯します。



水タンクがいっぱいになると、点灯します。



衣類乾燥モードのときに、点灯します。



除湿モードのときに、点灯します。



脱臭機能が作動するときに、点灯します。



チャイルドロック機能が設定されているときに、点灯します。



電源を切るタイマーが設定されているときに、点灯します。



ルーバーを上下に動かすときに、点灯します。



ルーバーを左右に動かすときに、点灯します。

センサー

衣類を検知し風向きを調整します。

除湿スイッチ

湿度設定スイッチ (除湿モードのみ)

湿度設定を変更できます。(P7参照)

付属品

• 取扱説明書(本書)

• 保証書



使いかた

⚠ 注意

- 水タンクが本体にきちんとセットされていることを確認してください。水タンクがきちんとセットされていないと、 ランプが点灯して、運転できません。

1. コンセントに電源プラグを差し込む

- 音が鳴ります。

2. (電源スイッチ)をタッチする

- 閉じていた吹き出し口が開き、除湿モードで運転を開始します。
- 衣類乾燥モードで運転する場合は、 (衣類乾燥スイッチ)をタッチします。
- 電源プラグを抜かないままにしておくと、前回運転したときのモードで運転します。ただし、タイマーは記憶できません。
- 電源スイッチを入れてから約3分以内に圧縮機が動いて運転音が大きくなります。

3. (電源スイッチ)をタッチし、運転を停止する

- ディスプレーに **88** を点滅表示します。その後、約3分間送風運転をした後、自動的に吹き出し口が閉じ、電源が切れます。

室内を除湿する

 (除湿スイッチ)をタッチし

除湿モード()にすると、室内を除湿します。

- 室温を検知して、室温が12℃以下になると自動的にヒーターを入にします。ヒーター入時に、室温が15℃以上になると自動的にヒーターを切にします。

● 目標湿度を設定する

-  (湿度設定スイッチ)をタッチすると、目標湿度を設定できます。

 (湿度設定スイッチ)をタッチするたびに、目標湿度は下記のように切り換わります。

→  (連続) → 40% → 50% → 60% → 70%

-  (湿度設定スイッチ)で目標湿度が設定されているときは、現在の室内の湿度を検知して自動的に運転します。目標湿度に達すると、除湿をやめて送風運転になります。
-  (連続)にすると、室内の湿度に関係なく除湿運転を続けます。

● 風速を切り換える

-  (風速切換スイッチ)をタッチすると、風速を切り換えることができます。
(1:遅い 2:速い)

● ルーバーを動かす

-  (ルーバー上下スイッチ)をタッチすると、ルーバーを上下に動かすことができます。(可動範囲:約80度)
 ランプが点灯します。
ランプが点灯しているときに  (ルーバー上下スイッチ)をタッチすると、ルーバーは停止します。
-  (ルーバー左右スイッチ)をタッチすると、ルーバーを左右に動かすことができます。(可動範囲:約80度)
 ランプが点灯します。
ランプが点灯しているときに  (ルーバー左右スイッチ)をタッチすると、ルーバーは停止します。

● タイマーを設定する

- 設定した時間経過後に、自動的に電源を切ることができます。
-  (タイマースイッチ)をタッチすると  ランプが点灯しタイマーが作動します。
-  (タイマースイッチ)をタッチするたびに、タイマー設定時間は下記のように切り換わります。
1h → 2h → 3h → 4h → 5h → 6h → 7h → 8h → 9h
- 設定時間が経過すると、ディスプレイに **88** を点滅表示します。その後、約3分間送風運転をした後、自動的に吹き出し口が閉じ、電源が切れます。

衣類を乾燥する

 (衣類乾燥スイッチ)をタッチして、

衣類乾燥モード()にすると、センサーが衣類を検知します。

※乾燥時間は、衣類量、部屋の温度・湿度によって異なります。

- センサーが作動しているときは、がまわるように点灯します。衣類乾燥が始まると、湿度表示とヒーターの状態が交互に表示されます。

※衣類の検知には約1分間かかります。

- 室温を検知して、室温が23℃以下になると自動的にヒーターを入にします。ヒーター入時に、室温が27℃以上になると自動的にヒーターを切にします。

- 乾燥が終了すると、ディスプレイに **88** を点滅表示します。その後、約3分間送風運転をした後、自動的に吹き出し口が閉じます。 (電源スイッチ)をタッチして、電源を切ってください。

- 最大運転時間は約400分です。

- 衣類乾燥モードでは、 (風速切換スイッチ)は使うことができません。

-  (ルーバー左右スイッチ) /  (ルーバー上下スイッチ)はマニュアルモードでのみ使うことができます。

● マニュアルモードを使用する

衣類乾燥モードで運転中に  (衣類乾燥スイッチ)を3秒間長押しすると、マニュアルモードに切り換わります。マニュアルモードでは、ルーバー(上下/左右)の可動範囲と、ヒーターの入切を手動で設定できます。

※マニュアルモード時は、センサーは作動しません。

- 運転中は、ディスプレイにヒーターの状態が表示されます。
- マニュアルモード開始から約120分が経過すると、ディスプレイに **88** を点滅表示します。その後、約3分間送風運転した後、自動的に吹き出し口が閉じます。

 (電源スイッチ)をタッチして、電源を切ってください。

ルーバーの可動範囲を変える

-  (ルーバー上下スイッチ)をタッチすると、ルーバーを上下に動かすことができます。

 ランプが点灯します。

ランプが点灯しているときに  (ルーバー上下スイッチ)をタッチするたびに、ルーバーの可動範囲を変更できます。(1:25度 2:80度 3:停止)

-  (ルーバー左右スイッチ)をタッチすると、ルーバーを左右に動かすことができます。

 ランプが点灯します。

ランプが点灯しているときに  (ルーバー左右スイッチ)をタッチするたびに、ルーバーの可動範囲を変更できます。(1:40度 2:80度 3:停止)

ヒーターを入/切する

-  (ヒーター入/切スイッチ)をタッチすると、ヒーターの入切を切り換えることができます。
( :入  :切)
- ヒーター入時に、室温が32℃以上になると自動的にヒーターを切にします。室温が31℃以下になると自動的にヒーターを入にします。

脱臭する

- 除湿モードまたは衣類乾燥モードのときに、 (脱臭入/切スイッチ)をタッチすると、脱臭機能を入(ランプ点灯)/切(ランプ消灯)できます。

チャイルドロックを設定する

-  (電源スイッチ)を含め、すべてのスイッチを効かなくすることができます。

設定するとき

- 運転中に  (タイマースwitch)を3秒以上タッチします。
 ランプが点灯し、すべてのスイッチが効かなくなります。

解除するとき

-  ランプが点灯しているときに、 (タイマースwitch)を3秒以上タッチすると、 ランプが消灯し、チャイルドロック機能は解除されます。
また、電源プラグをコンセントから抜くと、チャイルドロック機能は解除されます。

衣類検知について

- 適正な送風のため、初期検知後から約6分後および約17分後も、センサーが衣類を検知します。
(ディスプレイは湿度表示のままです。)
その後は、10分の運転後、それ以降は20分の運転ごとに、センサーが衣類の乾燥状態のみを継続して検知し、終了判定を行います。
- センサーの検知範囲内でも、衣類検知終了後は風向きを変更できません。
- センサーは、衣類とその周辺の温度によって対象物を判断します。
次のような場合は衣類を検知できず、強制運転(ルーバーが広範囲にスイング)します。
 - 本体と衣類との距離が近すぎたり、遠すぎたりするとき
 - 室温が衣類の温度より低いか、同じくらいのとき
 - センサーが汚れているとき
 - センサーと衣類の間に遮蔽物があるとき約30分間強制運転した後、約3分間送風運転し、自動的に吹き出し口が閉じ、電源が切れます。

排水のしかた

水タンク

*必ず本体の電源を切ってから行ってください。

水タンクが満水になると、ランプが点灯し、自動的に送風運転に切り換わり、約3分後に停止します。

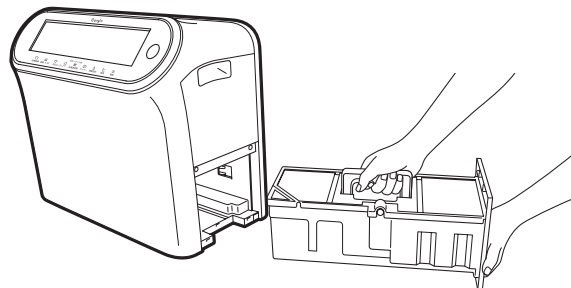
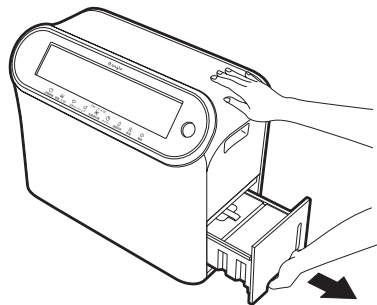
水タンクを取り出して排水してください。

1. 水タンクを本体からゆっくり取り出す

- 水タンク下側の取っ手に手をかけ、水をこぼさないように、水平を保ちながらゆっくりと引き出してください。
本体から抜いた水タンクは、両手で水平に持ってください。

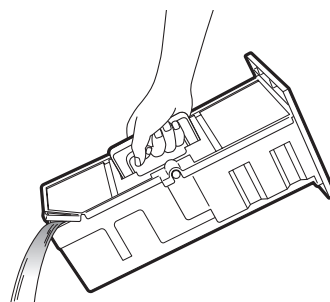
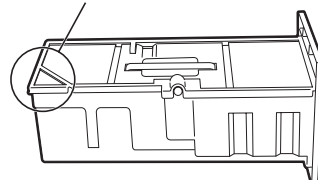
⚠ 注意

- 運転が停止した直後に水タンクを取り出すと、本体の中に残っている水が落ちてくる場合がありますので、注意してください。



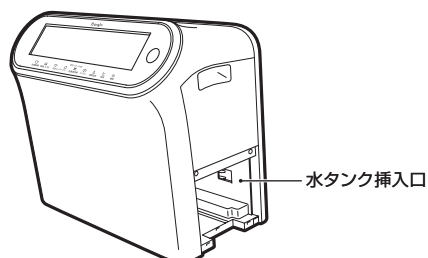
2. 水タンク排水口を開け、水を捨てる

水タンク排水口



3. 水タンクを本体にセットする

- 水タンクをセットする前に、水タンクと水タンク挿入口を拭いてください。
- 水タンクをセットしてから約3分後に運転を再開します。
- 水タンクを正しくセットしないと、ランプが点灯したままになり、運転することができません。
- 水タンクにヒビが入ったり割れたりしていないか確認してください。



水タンク挿入口

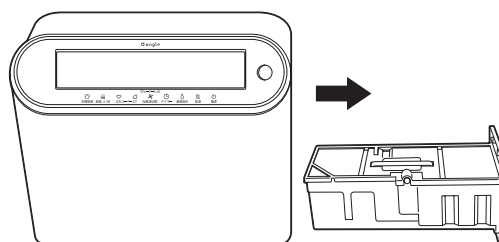
連続排水

*必ず本体の電源を切ってから行ってください。

市販のホースを本体に接続して排水すると、連続運転ができるようになります。

- 内径 12mm で、必要な長さのホースを用意してください。

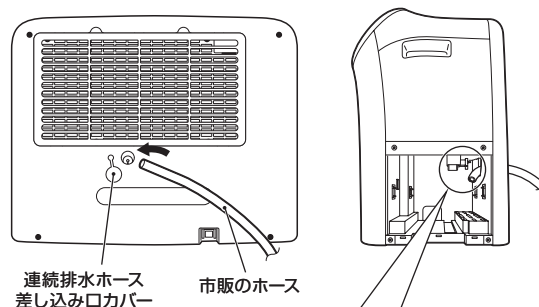
1. 水タンクを本体からゆっくり取り出す (P9参照)



2. 本体背面の連続排水ホース差し込み口 カバーを開き、ホースを差し込む

背面

側面

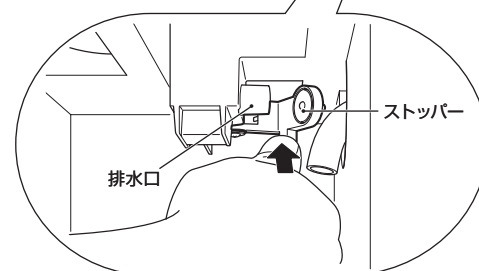


3. 本体の排水口を開く

- 水タンクを引き出したところから手を入れ、本体の排水口のストッパーを奥に押して、排水口を開いてください。

4. 本体の排水口にホースを接続する

- ストッパーを押したまま、排水口にホースをしっかりと接続してください。



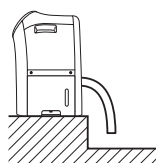
5. 水タンクを本体にセットする(P9参照)

6. ホースのもう一方の先を、排水する場所に設置する

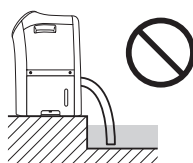
⚠ 注意

- 排水ホースの周囲が氷点下にならない場所に設置してください。
ホース内部の水が凍結すると、本体内部の水がこぼれて家財などを濡らす原因となります。

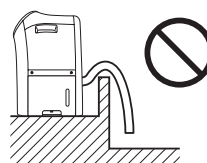
正しい設置例



間違った設置例



ホースの先が水につかっている



ホースの一部分が、排水口よりも高い



ホースが段差を乗り越えている

お手入れのしかた

⚠ 注意

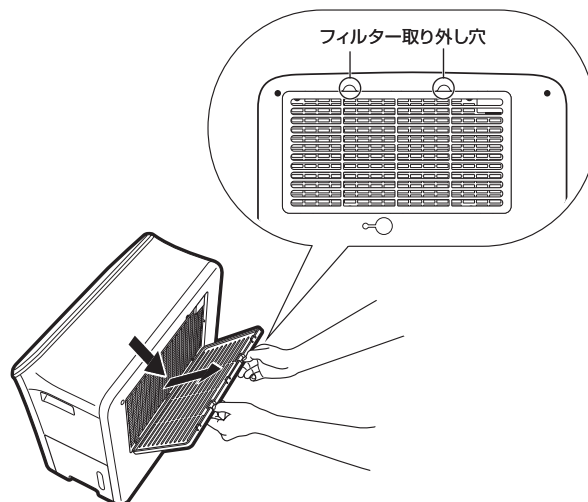
- お手入れをするときは、本体の電源を切りコンセントから電源プラグを抜いてください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

吸気口フィルターのお手入れ

2週間に1回ほど

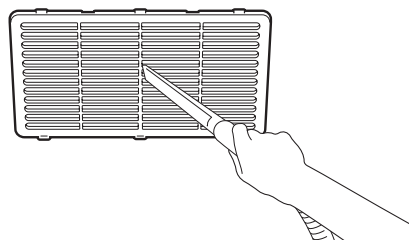
1. 吸気口フィルターを取り外す

- 本体背面のフィルター取り外し穴に指をかけて、フィルターを取り外してください。

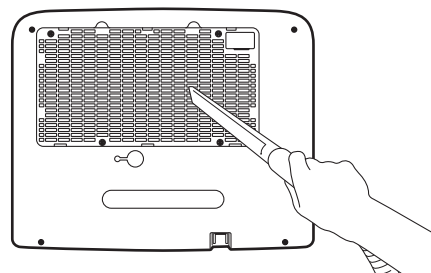


2. 掃除機を使い、吸気口フィルターに付いたほこりを吸い取る

- フィルターが破損する原因となるので、強くこすったり押したりしないでください。
- 汚れがひどいときは水洗いしてください。洗った後はよく乾かしてください。



3. 掃除機を使い、吸気口フィルターを取り外した本体背面のほこりを吸い取る



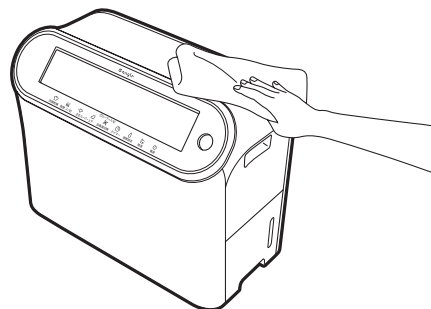
4. 吸気口フィルターを取り付ける

本体のお手入れ

2週間に1回ほど

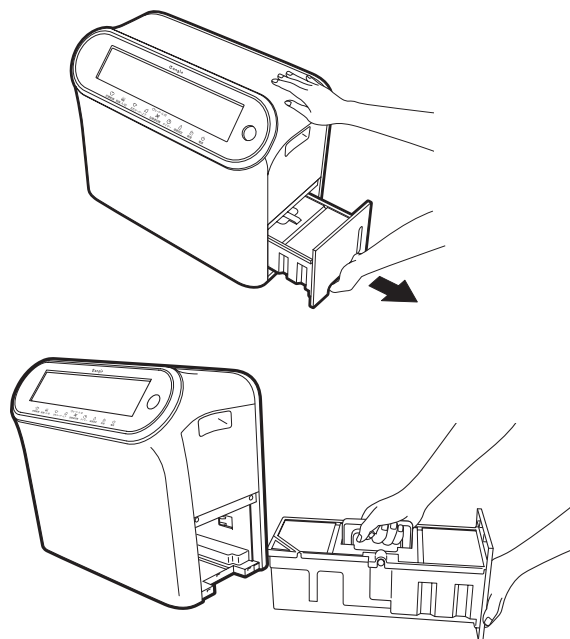
水またはぬるま湯(40℃以下)を含んだ柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

- 汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯をお使いください。
汚れを落とした後は、水またはぬるま湯を含んだ柔らかい布で、洗剤を拭き取ってください。



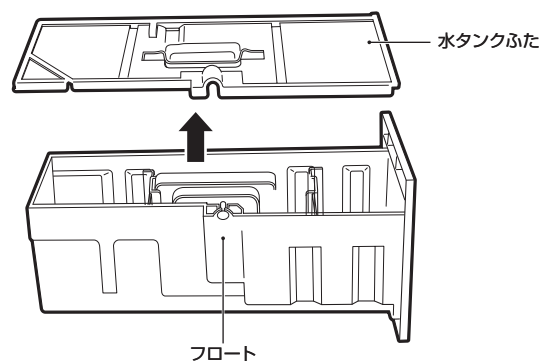
水タンクのお手入れ 1か月に1回ほど

1. 水タンクを本体からゆっくり取り出す (P9参照)



2. 水タンクふたを外す

- フロートは取り外さないでください。
外すと満水を検知できなくなり、水漏れの原因となります。



3. 水タンクと水タンクふたを水洗いする

- 空気中のチリを吸い込むことにより、水タンク、水タンクふたの内側が黒ずむことがあります。
水で落ちない場合は、ぬるま湯を使用してください。
- 洗った後は、水気を拭き取って乾いた状態にしてください。

4. 水タンクふたを取り付ける

- すき間ができないようにしっかりと取り付けてください。

5. 水タンクを本体にセットする(P9参照)

保管のしかた・廃棄について

保管のしかた

長期間使用しない場合は、下記の手順で保管してください。

1. 運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く
2. 排水する
(P9～10「排水のしかた」参照)
 - 本体の中に残っている水が落ちてくる場合があるので、運転が停止した直後には水タンクを取り出さないでください。
 - 連続排水ホースを接続している場合は、排水が室内にこぼれないように気を付けてホースを外してください。
 - 本体の内部を乾かすために、濡れている箇所があれば柔らかい布で拭き取り、本体を十分乾かしてください。
3. 吸気口フィルター、水タンクや本体をお手入れする
(P11～12「お手入れのしかた」参照)
4. 本体やすべての部品が十分乾いたことを確認し、ほこりが入らないように梱包箱に入れるか、ビニールなどの袋をかぶせる
5. 直射日光が当たらず、湿気の少ない場所に保管する
 - 横に倒さないでください。
 - 保管後に再度ご使用になるときは、湿気やほこりなどの状態を確認してください。

廃棄について

- 梱包材などを廃棄するときは、お住まいの地域の自治体へお問い合わせください。



- 本体にはフロン類の冷媒が使用されています。そのため本体を廃棄する場合には、地球への影響に配慮して適切に処理する必要があります。お住まいの地域の自治体へお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

*修理を依頼される前に、一度お調べください。

症 状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない	コンセントに電源プラグはしっかりと差し込まれていますか？	コンセントに電源プラグをしっかりと差し込んでください。
運転しない ( ランプが点灯している)	水タンクが満水状態になっていませんか？	水タンクを取り出して排水してください。(P9 参照)
	水タンクは正しくセットされていますか？	水タンクを本体に正しくセットしてください。(P9 参照)
運転しない 除湿しない ( ランプが点灯している)	自動除霜機能が作動しています。	ランプが消えるまで、電源プラグを抜かずにお待ちください。故障ではありません。(P4 参照)
除湿量が少ない	湿度が低くなっていませんか？	湿度が低いと、除湿量は少なくなります。故障ではありません。
	室温が高くなっていませんか？	室温が高いと、本体を保護するために除湿機能が停止することがあります。故障ではありません。
	室温が低くなっていませんか？	室温が低いと、本体を保護するために除湿機能が停止することがあります。故障ではありません。
湿度が下がらない	広すぎる部屋で使用していませんか？	適切な広さの部屋で使用してください。(P17「仕様」参照)
	窓やドアの開閉が多かったり、開いたままになっていたりしませんか？	できるだけ閉め切った部屋で利用してください。窓やドアの開閉を少なくしてください。
	同じ室内で、石油ストーブや水蒸気の出る家電製品を使用していませんか？	運転中は石油ストーブや水蒸気の出る家電製品のご使用は、できるだけ控えてください。
ファンの回転数が切り換わった (風速1で除湿運転をしている)	室温が高くなっていませんか？	本体を保護するために自動的に風速を強く切り換えます。故障ではありません。(室内温度が低くなると元の風速に戻ります。)
運転中、室温が上がる	衣類乾燥除湿機を閉め切った部屋で運転すると、室温が上昇します。	除湿機能によるものです。

故障かな？と思ったら(つづき)

症 状	チェックポイント	処置のしかた
衣類乾燥時に、暖かい風が出ることもある	室温が低くなっていませんか？	室温が23℃以下になると自動的にヒーターを入にします。(P8 参照)
衣類乾燥・マニュアルモード時に、ヒーターを入にしているのに暖かい風が出ない	室温が高くなっていませんか？	本体を保護するため、ヒーター入時に、室温が32℃以上になると自動的にヒーターを切にします。室温が31℃以下になると自動的にヒーターを入にします。
衣類乾燥モード時にルーバーが真上または真横に向いていることがある	衣類検知を行っている際や衣類の乾燥状態により、真上または真横に送風を行います。	適正な送風のため、センサーによる衣類検知を行っており故障ではありません。
運転中に振動する	不安定な場所に設置していませんか？	水平で安定した場所に設置してください。
室内に水がこぼれる	本体が傾いていませんか？	水平で安定した場所に設置してください。
	水タンクに水を入れたまま移動していませんか？	本体を移動するときは、水タンクの水を捨ててください。(P9 参照)
	運転が停止した直後に水タンクを取り出していないですか？	運転が停止した直後には、水タンクを取り出さないでください。本体の中に残っている水が落ちてくる場合があります。
	水タンクふたが正しく取り付けられていますか？	水タンクふたは、すき間ができないようにしっかりと取り付けてください。
	連続排水時、ホースが外れていませんか？	排水口にホースをしっかりと接続してください。
洗たく物が乾燥しない(乾燥にムラがある)	本体からの風が洗たく物の奥まで通るように干していますか？	洗たく物の間隔を調節してください。(P4 参照)
	衣類の材質(保水力)によるムラです。	保水力の高い衣類は中心部分に移動してください。
強制運転(ルーバーが広範囲にスイング)する	本体と衣類の距離が近すぎたり遠すぎたりしていませんか？	センサーの検知範囲内に干してください。(P4 参照)
	室温が衣類の温度より低いか、同じくらいではありませんか？	暖かい部屋でご使用ください。
	センサーが汚れていたり、センサーと衣類の間に遮蔽物があったりしませんか？	汚れや遮蔽物を取り除いてください。
ディスプレイに「Hi」が表示される	寒い部屋から暖かい部屋に移動しませんでしたか？	センサーの結露です。部屋の温度に馴染むと湿度表示に変わります。

- 以上をお調べいただき、なお異常があるときは、すぐに電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店か、本書の裏表紙(P19)に記載の「エディオンサービスセンター」にご相談ください。

⚠ 警告



●修理技術者以外の方は、分解や修理をしないでください。

こんな表示が出たら

安全機能が働いた場合や異常があった場合、ディスプレイにエラーコードを表示します。

表 示	処置のしかた	
C1	電子部品の故障です。	速やかにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」にお問い合わせください。
C3		
C8	配管の故障です。	
C2	電子部品の故障です。	室温を確認いただき、適切な温度の部屋で ご使用ください。
	室温が0℃以下または40℃ 以上の場合に表示されることがあります。	

別売部品について

別売部品のご購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

名 称
吸気口フィルター
水タンク（水タンクふた以外）
水タンクふた

※各部品については、P5「各部のなまえ」をご参照ください。

仕様

定格電圧		AC100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
電動機の定格消費電力※ ¹		275W	340W
電熱装置消費電力※ ²		650W	
定格除湿能力※ ³		14L / 日	16L / 日
除湿面積の目安※ ⁴	一戸建住宅(木造)和室	29㎡(18畳)	33㎡(20畳)
	一戸建住宅(プレハブ)洋室	44㎡(27畳)	51㎡(31畳)
	集合住宅(コンクリート、 軽量コンクリート造り)洋室	58㎡(35畳)	67㎡(40畳)
水タンク容量		約4Lで自動停止	
寸法(電源コードを除く)		約 幅526mm×奥行310mm×高さ454mm	
質量		約16.4kg	
電源コードの長さ		約1.9m	

※¹ 室温30℃のときの電気用品安全法に基づく数値です。

※² 室温20℃のときの電気用品安全法に基づく数値です。

※³ 室温27℃、湿度60%を維持し続けたときの、1日(24時間)あたりの除湿量です。

※⁴ JEMA((一社)日本電機工業会)規格に基づいた数値です。

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

■ 修理サービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。

保証書はお買い上げの販売店による「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から1年間です。（ただし、冷媒回路については3年間です。）

2. 修理を依頼される時

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 衣類乾燥除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、本書の裏表紙（P19）に記載の「エディオンサービスセンター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の衣類乾燥除湿機の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか	●電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深い傷や変形がある。 ●コゲくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用 中 止
			このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱い・修理に関しては、お買い上げの販売店または下記の各窓口へご相談ください

※お買い上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は各窓口へお問い合わせください

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。

ご質問の内容によりましては適切な回答のためにエディオングループ各社ならびに関係会社に情報を提供することがございます。

ご提供いただいたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

※エディオングループ個人情報保護方針：<https://www.edion.co.jp/privacy>

ご相談窓口 ～商品に関するお問い合わせ～

■エディオンお客さま相談センター



0570-07-0557 (有料)

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～18:30（土日祝・年末年始除く）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2丁目3番33号 大阪三井物産ビル

- お電話は番号をよくお確かめの上、お間違いのないようにおかけください。
- 所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2020.08時点)

修理窓口 ～修理に関するお問い合わせ～

■エディオンサービスセンター



0570-06-0119 (有料)

受付時間：月曜日～日曜日 9:00～20:00（年中無休）

※年末年始に関しては受付時間の変更される場合があります。

- お電話は番号をよくお確かめの上、お間違いのないようにおかけください。
- 電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2020.08時点)